

本誌編集委員会は2か月に1回開催されます。その1か月程前になると各編集委員に6~8編の新来論文が送られてきます。最近その中に、ロボット支援手術に関する論文が散見されるようになり、とても嬉しく感じています。

内視鏡外科手術は、テクノロジーの進化とともに発展してきました。昨今、次世代のテクノロジーとしてロボットと人工知能(AI)が注目されています。昨年、先進医療B:「内視鏡下手術用ロボットを用いた腹腔鏡下胃切除術」にて、ロボットの使用により腹腔鏡下胃切除術後合併症発生頻度が有意に軽減されることが示され、本年4月より、胃癌、食道癌、直腸癌、肺癌、子宮体癌、膀胱癌、縦隔腫瘍に対するロボット支援手術を含む12のロボット術式が新たに保険収載されました。2012年にロボット支援前立腺全摘術が保険収載されて以来、本邦は、世界第2の内視鏡手術支援ロボット保有国でありながら、ロボット1台あたりの手術施行件数は世界最下位という、“宝の持ち腐れ”状態に陥っていました。今回の診療報酬改定には、ようやくその“資源”を活用して内視鏡外科手術を次なるステージに飛躍させる大きな契機となる可能性が期待されます。普及期の安全性を担保するためのレジストリー制やプロクター制度等新しい試みも始まります。保険診療の要件やコストの問題等、越えなくてはならないハードルは複数存在しますが、ロボットの能力を引き出す手技やセットアップの工夫、ロボットの臨床的有用性、ロボット外科医を養成するためのトレーニング、次世代のロボットの開発等々について、本誌上で活発な議論が展開されるのを心待ちにしております。

(須田康一)

日本内視鏡外科学会雑誌

(第23巻 第5号) 2018年9月15日発行・隔月刊

Journal of Japan Society for Endoscopic Surgery (Tokyo)

(1部) 定価: 本体 2,800 円 + 税 * 会員には毎号送付されます。

2018年 年間購読料: 冊子版 16,380 円 + 税, 電子版(個人) 16,380 円 + 税, 冊子 + 電子版(個人) 19,380 円 + 税(配送料: 医学書院負担) * 会員には冊子版が毎号送付され、学会ホームページから電子版が閲覧できます。

編集・発行: 日本内視鏡外科学会(代表: 渡邊昌彦)

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 1-4-2 大同生命霞が関ビル

日本コンベンションサービス株式会社内

☎ 03-3503-5917 Fax 03-3508-1257 E-mail: info-jses@convention.co.jp (担当: 池田, 小倉)

<http://www.jses.or.jp>

Published by Japan Society for Endoscopic Surgery, 1-4-2 Kasumigaseki, Chiyodaku

Tokyo, 100-0013, Japan ©2018, Printed in Japan

発 売: 株医学書院(代表: 金原 俊)(本誌担当: 水野, 安部) <http://www.igaku-shoin.co.jp/>

<http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/jses/>

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23 (振替口座 00170-9-96693 番)

本誌編集室直通 ☎ 03-3817-5707 (Fax 03-3815-7802 / E-mail: jses@igaku-shoin.co.jp)

販売部直通 ☎ 03-3817-5659 (Fax 03-3815-7804)

印刷所 横山印刷(株) ☎ 03-3622-6161 (Fax 03-3625-1591)

広告申込所 株文京メディカル ☎ 03-3817-8036 (Fax 03-3817-8044)

- ・本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は日本内視鏡外科学会が保有します。
- ・JCOPY (株) 出版者著作権管理機構 委託出版物) 本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、(株) 出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

●症例報告

胸腔鏡下に摘出した遺伝性球状赤血球症による

胸腔内髄外造血巣の 1 例 横手芙美・他 国立国際医療研究センター病院呼吸器外科
妊娠 36 週に腹腔鏡下胆嚢摘出術を施行した症候性胆石症の 1 例 林 昌孝・他 山口赤十字病院外科
完全内臓逆位の胸部食道癌患者に対して胸腔鏡下食道切除術を施行した

1 例 宮内俊策・他 四国がんセンター消化器外科
腹腔鏡用ポートを使用した経胃瘻の内視鏡操作により

有鉤義歯を摘出しえた 1 例 白石斗士雄・他 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科
Bilayer patch 法により修復された再発左鼠径ヘルニアの術後遅発性メッシュ

感染に対して ideal-Hybrid 法（腹腔鏡下誘導前方切開法）で手術を施行した

1 例 榎本浩也・他 厚木市立病院外科
内科的治療に抵抗性の慢性便秘症に対し腹腔鏡下

Frykman-Goldberg 手術にて改善しえた 1 例 紙谷直毅・他 奈良県立医科大学付属病院消化器・総合外科
バリウム腹膜炎に対する直腸切除・結腸単孔式人工肛門

造設術後に腹腔鏡下結腸直腸吻合再建術を施行した 1 例 前田佐知子・他 佐賀大学医学部一般・消化器外科

但し誌面の都合により変更がございます。ご諒承ください。